

・ Society5.0 時代の到来 ・ 技術革新、グローバル化の進展 ・ 少子化の進行

1 背景

多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、自分の未来を切り拓き、社会の創り手となる人材の育成が必要

高等学校教育を取り巻く国の動き

- ◎新学習指導要領の着実な実施
- ◎問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成
- ◎多様な分野に関する知識・及び技能や異分野に協働する姿勢
- ◎STEAM 教育等の教科横断的な学習の推進による資質・能力の育成
- ◎産業界と一体となって地域産業を支える革新的職業人の育成

本県の現状と課題

- ◎生徒一人一人の個性を伸ばす魅力ある高校づくり（ものづくり中核校、探究科学科、総合選択制等の設置）
- ◎中学卒業予定者数の減少に伴う学級減による小規模校の増加
- ◎学級減に伴う1学科1学級の職業科への対応
- ◎多様な生徒へのきめ細かな対応

富山県教育振興基本計画【3つの横断的取組み】

- ◎「課題解決型の教育」の展開
- ◎「ICT 教育」の推進
- ◎「チーム富山教育」の実現

2 これまでの取組み

◎授業改善の推進

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の改善（教師力向上支援事業、教師の学び支援事業）
- ・課題解決型学習の推進（とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業）

◎ICT を活用した教育の推進

- ・1人1台タブレットの活用
- ・各校のICT を活用した授業を公開し、授業実践研究を推進
- ・「オンライン教育利活用ガイドブック」を作成
- ・情報通信技術支援員の派遣

◎富山型キャリア教育

- ・社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」
- ・高校生職業教育プログラム
- ・キャリア教育アドバイザー配置

◎英語・グローバル教育

- ・研究拠点校での研究・実践
- ・各種コンテストの実施
- ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業
- ・高等学校生徒海外派遣事業

◎とやまの高校生ライフプラン教育充実事業

- ◎とやま科学オリンピックの実施
- ◎ふるさと学習の実施

普通系学科

- ・生徒の実態を踏まえた選択科目の充実
- ・少人数指導など個に応じた指導の充実
- ・地域の課題をテーマにするなどして、課題発見・課題解決能力の育成をねらいとする探究型の学習を推進
- ・SSH、SGHの取組み

総合学科

- ・キャリア教育の重視（1年次から「産業社会と人間」などで、将来の生き方や進路について考えていく）
- ・テーマ性をもった選択科目群「系列」の開設などによる多様な教育課程の編成

職業系専門学科

- ・インターンシップの実施や企業の技術者の招聘等による専門性の高い授業の展開
- ・とやまの高校生マイスター育成事業
- ・各種資格の取得に向けた積極的な取組み

定時制・通信制

- ・多様な生徒に対応したきめ細かな指導
- ・多部制による弾力的な学びの対応
- ・スクールカウンセラーの配置、教育相談体制の充実

3 令和の魅力と活力ある県立高校づくりの目指す姿（案）

◇魅力ある高校教育を通じた「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上 ～学びたい、学んでよかったと思える高校づくり～

- I 生徒の可能性を引き出し、自分らしく未来を切り拓いていくための、確かな資質能力と意欲の育成
- II 社会の持続的な発展を担うための、主体的に課題を発見し解決する力や他者と協働して解決策を生み出す力の育成
- III 自己と他者を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、よりよい社会を築こうとする態度の育成

4 今後の魅力と活力ある県立高校づくりに向けた6つの方向性と各学科等の取組み（案）

- I 各学校の特色や魅力をさらに深化させるための取組みを重点的に推進
- II 地域・大学・企業や学校間等の連携による取組みを推進
- III ICTの活用による学びの充実を推進
- IV グローバルに活躍する生徒の育成を推進
- V 魅力と活力ある学校づくりを推進するための教育環境の整備
- VI 再編・統合等にかかる検討

普通系学科

- ① 特色・魅力ある教育課程の実現に向けて、各校におけるカリキュラムマネジメントを推進する
- ② 論理的思考力や問題解決能力の育成に向けて、プロジェクト学習を推進する
- ③ ICTを効果的に活用した教育を推進する
- ④ 地域や大学、産業界との連携・協働を積極的に図る
- ⑤ インターンシップの実施などキャリア教育を推進する
- ⑥ 文理の枠を超えた複合的な課題解決を通して、新たな価値を創造するための資質・能力の育成に向けてSTEAM 教育を推進する
- ⑦ 幅広い学力層に対応したきめ細かな指導の充実を図る
- ⑧ 普通系学科の魅力化・特色化をさらに進めるため、学科やコースの改編などについて検討する

総合学科

- ① 地域や大学等との連携や外部の専門人材の活用等をさらに充実させる
- ② 時代の変化等に応じた生徒それぞれの興味・関心、進路指導等に関わる系列等の整備について、検証しつつ、地域の特性を生かした系列等の整備についても検討する
- ③ 生徒が自己の興味関心に応じて主体的に選択して学習できるという特性を生かし、課題探究型の学びを図る
- ④ 地域や民間企業でのフィールドワークを生かした課題解決型の探究学習を推進する
- ⑤ 全局的な視野に立って、総合学科のある学校の配置バランス等を検討する

職業系専門学科

- ① 他学科や地域と連携した協働的な学びを推進し、課題探究型の学びを図る
- ② 基礎的・基本的な専門知識・技術を身につけるとともに、企業や大学との連携、先端技術の活用などを旨とした活動を推進する
- ③ 生徒が地元企業や実際の社会の状況を深く理解できるよう、インターンシップなどを通して、企業等との連携をさらに進める
- ④ 最新の設備を活用し、DXに対応できる即戦力となる生徒を育成する
- ⑤ 生徒や社会のニーズに対応した学科やコースの改編などについて検討する
- ⑥ 学びの魅力や特色について、効果的な情報発信を図る

定時制・通信制

- ① 多様な生徒に対応した習熟度別などのクラス編成による授業を推進する
- ② 多様な生徒への学び直しもできる教育課程の構築を推進する
- ③ 通級指導の充実を図る
- ④ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門的な指導員を積極的に活用し、支援体制の推進をさらに図る
- ⑤ 生徒の多様な学習ニーズ等に対応できるようにICTの効果的な活用を図る
- ⑥ ジョブサポートティーチャーによる就職指導のさらなる充実を図る
- ⑦ 学びの魅力や特色について、効果的な情報発信を図る